


県政調査計画書

平成26年12月24日

県議会議長 向笠 茂幸 殿

会派名 県政会神奈川県議会議員団

団長名 山本俊昭 

(署名又は記名押印)

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) 笠間 茂治 (団員) 川上 賢治、相原 高広、 飯田 誠、馬場 学郎、 山本 俊昭
2 調査目的	キャリア教育、ロボット関連産業振興、生活習慣病予防、空き家対策、農業振興について先進的な取組を行っている事例を調査することにより、本県における今後の施策の推進に資する。
3 調査期間	平成27年1月28日～1月30日
4 調査地	福岡県、熊本県
5 調査項目	<p>(1) 福岡県庁 福岡県におけるキャリア教育推進の取組を調査することにより、本県のキャリア教育の推進に資する。</p> <p>(2) 福岡市「ロボスクエア」 福岡市におけるロボット体験施設「ロボスクエア」を調査することにより、本県のロボット関連産業振興施策の推進に資する。</p> <p>(3) 熊本市 ① 熊本市における生活習慣病予防(慢性腎臓病)の取組を調査することにより、本県における未病対策の推</p>



	<p>進に資する。</p> <p>② 熊本市における空き家対策を調査することにより、本県の空き家対策の推進に資する。</p> <p>(4) 熊本県庁 熊本県における農業担い手の雇用支援及び世界農業遺産「阿蘇の草原の維持と持続的農業」を調査することにより、本県の農業振興施策の推進に資する。</p>
<p>6 経費の概算額</p>	<p>一人当たりの議員経費 …………… 127,020円</p> <p>内訳 交通費 90,420円</p> <p>宿泊費 33,000円</p> <p>日 当 3,600円</p> <p>合 計 127,020円</p>

* 日程表を添付する。

県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関	調査箇所及び調査内容
1	1月28日 (水)	■福岡県 福岡市	午前 午後		(羽田空港→福岡空港) ■福岡県庁 ・高校生キャリア教育推進事業について 〈福岡市内泊〉
2	1月29日 (木)	■福岡県 福岡市 ■熊本県 熊本市	午前 午後	公共交通 機関等	■福岡市「ロボスクエア」 ■熊本市役所 ・生活習慣病予防対策(慢性腎臓 病予防対策等)について 〈熊本市内泊〉
3	1月30日 (金)	■熊本県 熊本市	午前 午後	航空機	■熊本市役所 ・空き家対策の取組について ■熊本県庁 ・農業担い手の雇用支援及び世界 農業遺産「阿蘇の草原の維持と持 続的農業」について (熊本空港→羽田空港)

県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長) 笠 間 茂 治 (団 員) 川 上 賢 治、 相 原 高 広、 飯 田 誠、 馬 場 学 郎、 山 本 俊 昭
---------	---

1 要領2(1)の基準への適否

区 分	調査の基準	計画の内容	適否
① 調査経費	議員1人当たり100万円以内	議員1人当たりの経費は127,020円であり、基準を満たしている。	適
② 調査箇所	1日につき午前及び午後それぞれ1箇所以上調査実施 移動日は1箇所以上調査実施	移動日は1箇所以上、その他の日は午前及び午後それぞれ1箇所ずつ調査を実施する行程となっている。	適

2 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
① 調査の実施が県政課題解決の一助となるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡県では、各学校にキャリアコーディネーターを配置し、高校生のキャリア教育に取り組んでいる。 ・ 福岡市では、ロボット体験型施設「ロボスクエア」を設置、運営し、ロボットテクノロジーの教育やロボット関連産業の振興に取り組んでいる。 ・ 熊本市では、生活習慣病予防対策及び空き家対策に取り組んでいる。 ・ 熊本県では、農業担い手の雇用支援及び世界農業遺産に認定された「阿蘇の草原の維持と持続的農業」の保全・推進に取り組んでいる。 <p>以上の取組を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる</p>

区 分	所 見
<p>② 調査の実施時期が時宜を得たものか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本県では、県立高校において「働くこと」を通して、人や社会とかかわる「生きる力」を身に付けることを目指し、キャリア教育に取り組んでおり、福岡県における取組を調査することは、時宜を得たものである。 ・ 本県では、「さがみロボット産業特区」において生活支援ロボットの実用化に取り組んでおり、福岡市におけるロボット体験施設を調査することは、時宜を得たものである。 ・ 本県では、「未病を治す」取組を推進しており、熊本市における生活習慣病予防対策を調査することは、時宜を得たものである。 ・ 空き家が全国的に増えており、本県においても空き家対策が課題となっている。こうした中で、熊本市における取組を調査することは、時宜を得たものである。 ・ 本県においても、農業の担い手の減少や高齢化が進んでおり、担い手の育成・確保が課題となっている。こうした中で、熊本県の農業担い手の雇用支援等の農業振興施策について調査することは、時宜を得たものである。
<p>③ 現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。</p>	<p>高校生キャリア教育の推進、ロボット体験型施設の状況、生活習慣病予防、空き家対策、農業振興など、今後の本県における施策の取組に活かしていくためには、現地に赴き現場職員から事業内容やその成果について具体、詳細に調査及び聴取しなければ調査目的が達成できないものである。</p>
<p>④ 調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。</p>	<p>調査箇所、行程、経費等は県政調査実施要領の基準を満たしており、妥当である。</p>